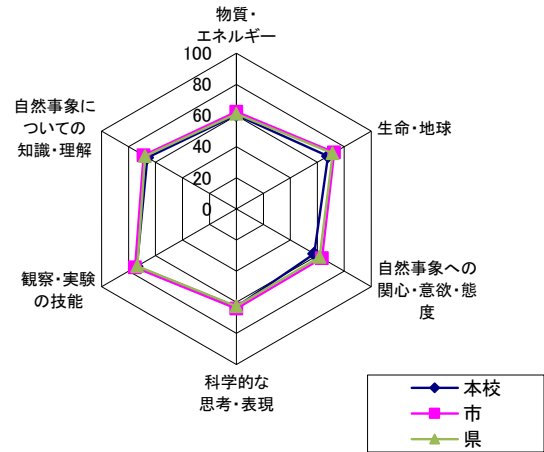


宇都宮市立瑞穂野北小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	60.4	62.4	61.1
	生命・地球	67.9	72.5	71.4
観点	自然事象への関心・意欲・態度	57.7	63.4	61.7
	科学的な思考・表現	62.9	64.1	62.6
	観察・実験の技能	73.9	75.2	73.5
	自然事象についての知識・理解	66.0	68.8	67.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均よりやや低い。</p> <p>○空気銃砲で空気を圧縮した時の手ごたえをもとに、もどろうとする力によって玉が飛んでいく仕組みをよく理解している。</p> <p>●電気の流れについて答える問題の正答率が低い。</p> <p>●豆電球の光る仕組みを推測する問題の正答率が低い。</p>	<p>・生活に生かせるように、身近なものや事象を取り上げながら、既習内容を使って説明する活動を多く取り入れる。</p> <p>・学習の過程で実験・観察の過程を分析したり考察したりする際に、表やグラフなどを使用し、結果から分かったことを自分なりの言葉でまとめることのできる活動を多く行うようにする。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○1年間の植物の成長の問題では、秋の桜の様子について答える問題の正答率が高い。</p> <p>●動物の体のつくりの問題では、うさぎの背中が丸くなる理由を推測する問題の正答率が低い。</p> <p>●容器にふたがあると、蒸発した水は出ていかず、内側に水滴がつくことを問う問題の正答率が低い。</p>	<p>・生活の事象と関連した教材の設定を工夫する。</p> <p>・学んだ知識を生活の事象と結びつけられるような授業の展開に努める。</p> <p>・実験・観察の際には、条件を整理して予想したり、結果と照らし合わせて考察したりする学習活動の時間を確保する。</p>